



地域と生きる

おんが病院・おかがき病院だより

Stop ザ コロナ蔓延！！

統括院長 杉町 圭蔵

新型コロナウイルスとヒトとの熾烈な戦争が勃発し、あっという間に戦場は世界中に広がり、感染者は366万人、犠牲者はすでに30万人を超え、まだ増加しています。

ヒトは他の生物と比べて格段に優れた頭脳を有しており、地球上を独り占めにし、環境破壊・自然破壊を続けてきました。その結果、世界の平均気温は1880年に比べて0.85℃上昇し、二酸化炭素濃度は40%も増加しました。また、ごみ汚染、放射線汚染などが地球の自浄能力を超えて進んでおり、ここにきて目には見えない小さな微生物とヒトとの生存競争が発生しています。

ウィルスは、他の生物に寄生しないと自分だけでは生きていけないので、ヒトという宿主に寄生し、次から次へとヒトを渡り歩きながら、自分たちの子孫を絶やさないように懸命に繁殖を続けています。

各国首脳はコロナ対策に頭を悩めているようですが、日本のコロナ対策は最初から大きく間違っていたように思います。それは「大量のPCR検査の申し込みがあると処理能力を超える。」という理由で、PCR検査を極力抑えたことです。

厚労省はコロナ感染症診断の決め手となるPCR検査を極端に制限していますが、これとは真逆のことを考えるべきです。即ち、厚労省は国民にPCR検査を推奨し、例え無症状であっても、PCR検査を積極的に推奨し、コロナ感染者を早く見つけることでコロナは終息に向かうでしょう。

コロナとの戦争の真っ只中で、コロナ終息後のことを考えるのは、まだ早過ぎるとのお叱りを受けるかもしれませんが、コロナ後の地球を大気汚染まみれに再び戻していいのでしょうか？

コロナウィルスの感染拡大を止めるためのロックダウンで、思いがけずに澄んだ空気を取り戻した地球。これを機に、人類は汚染物質の排出を恒久的に削減し、地球温暖化を阻止し、きれいな地球を取り戻したいものです。

【無料セカンドオピニオン相談のご案内】

おんが病院では「無料セカンドオピニオン相談」を実施しています。今かかっている病院での診断や治療法について、よく理解できなかつたり、何か疑問があり、安心して治療を受けることが出来ない場合、あるいは、どこで治療を受けたらよいのか迷う場合など是非相談して下さい。

これまでに1400件以上の相談をお受けしており、これからも困っている方のお役に立ちたいと考えています。

担当：杉町圭蔵

セカンドオピニオン予約； おんが病院：093-281-2810
総務 米倉
mail: secondop@onga-hp.jp

おなが病院 新任医師紹介

外科



外科部長

まつやま あゆみ
松山 歩

2020年4月より勤務することになりました 松山 歩(まつやま あゆみ)と申します。1992年に九州大学を卒業後、九州大学病院、九州大学病院別府病院、広島赤十字・原爆病院、製鉄記念八幡病院で外科診療を中心に従事してまいりました。専門は消化管癌(食道癌・胃癌・大腸癌)の治療(手術・化学療法)ですが、急性虫垂炎やヘルニアなどの良性疾患についても診療にあたっております。

また、鏡視下手術の利点を生かした手術を心がけております。消化器疾患についてお困りの際には、ご相談いただけますと幸いです。

微力ではありますが、医師会の先生方と協力・連携していただきながら、地域の医療に役立てる様取り組んでまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

外科



救急科副部長

はるた やすひろ
春田 泰宏

2020年4月よりおなが病院の外科、救急科で勤務することになりました、春田泰宏と申します。

長崎大学を卒業し、市中病院や大学病院で消化器外科を中心に診療に従事して参りました。おなが病院では消化器疾患以外に救急医療でも、地域の皆様のお役にたてるよう頑張っていきたいと考えています。

どうか宜しくお願い致します。

消化器内科



ほり よしふみ
保利 喜史

2020年4月より、消化器内科に勤務することになりました保利 喜史(ほり よしふみ)と申します。

北九州市出身、平成21年長崎大学卒業です。学生時代は、バスケットボール部に所属していました。九州大学病院、製鉄記念八幡病院などで消化管疾患を中心に診療に従事してまいりました。月曜日と、水曜日に外来をしています。消化管疾患(消化管腫瘍、消化管出血、炎症性腸疾患、小腸疾患等々)でお困りの際は、御紹介よろしくお願い致します。

地域の開業医の先生とともに、遠賀・中間地区の地域の方々の健康を守ることが、私の使命であると考えています。どうぞよろしくお願い申し上げます。

整形外科



さかもと こうせい
坂本 幸成

2020年4月よりおなが病院整形外科に赴任することとなりました、坂本幸成と申します。

現在まで製鉄記念八幡病院、佐賀県医療センター好生館、九州大学病院、福岡みらい病院での勤務を経て当院へ参りました。

主に外傷を中心に診療を行っておりますが、整形外科外来では慢性疾患も広く診察しておりますので、お困りのことがあればお気軽にご相談を頂けると幸いです。

地域の皆様のお役に立てるよう努力して参りますのでよろしくお願い致します。

おかがき病院 総院長紹介



一般社団法人 遠賀中間医師会
遠賀中間医師会おかがき病院

総院長 兼松 隆之

2020年4月1日付けでおかがき病院の総院長を拝命いたしました兼松隆之（かねまつ・たかし）です。どうぞ、よろしくお願ひいたします。

私は1945年7月、福岡県糸島市で生を受け、私立西南学院中学校、福岡県立修猷館高等学校に学びました。高校卒業後は長崎大学医学部に進み、1971年に卒業し、直ちに、九州大学第二外科（現在の消化器・総合外科）に入局し、外科医としての修練を受けました。おんが・おかがき病院の統括院長である杉町圭蔵先生とは九州大学第二外科入局以来、多大のご指導を仰いできた者であります。

1991年に長崎大学第二外科（現在の移植・消化器外科）に赴任し、そこで約20年を過ごしましたが、定年退任後は長崎市病院局ならびに地方独立行政法人長崎市立病院機構に9年間お世話になり、長崎市立の急性期病院で管理運営に携わってまいりました。この3月に任期満了により退任いたしました。

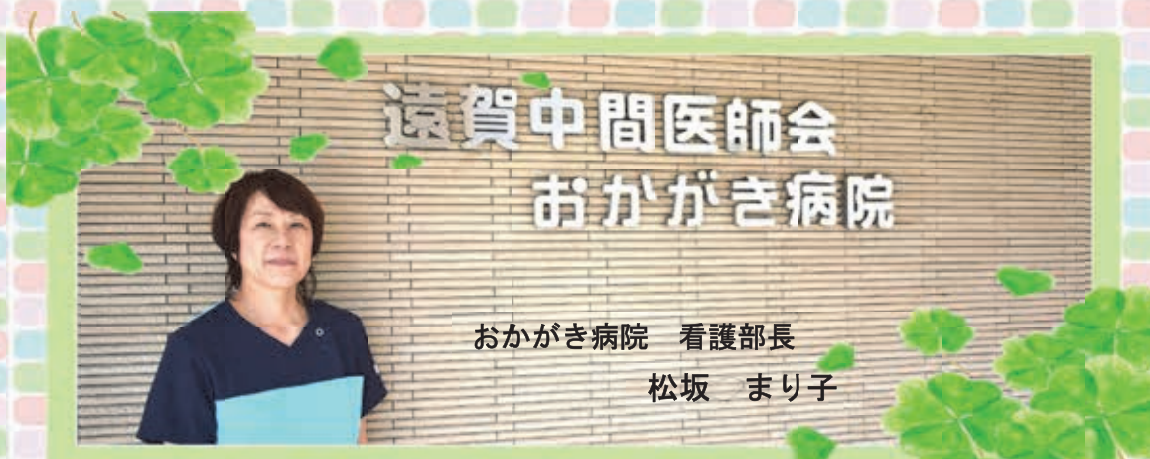
縁あって遠賀中間医師会おかがき病院で勤務する機会をいただき、遠賀中間医師会会長の津田文史朗先生はじめ医師会会員の先生方にも心から御礼を申し上げます。

これからは新たに慢性期疾患の医療、在宅医療、住民健診などについても学んでいきたいと思ひます。とはいっても、今年1月以来、世界中に席卷しているコロナ禍で世の中が大きく変わっています。福岡も非常事態宣言がなされ、いろんな計画が中止、ないしは延期となっています。ようやく「出口戦略」が話題となりつつある昨今ですが、遠賀中間地区での患者さんはおんが病院が受け入れ、治療に携わってこられました。おかがき病院もおんが病院の支援の意味からも発熱外来・接触者外来を開設し、地域のお役に立ちたいと考えているところです。

福岡県立遠賀病院以来、遠賀中間医師会が引き継いでこられましたおんが病院とおかがき病院の歴史に敬意を払い、その心を活かしながらおんが病院とおかがき病院との緊密な連携を重視しつつ、地域の医療機関との協力体制にも力を注いでまいります。地域の特性を活かしつつ、国の地域医療構想も念頭に置きながら、地域住民の皆様が健康を維持し、安心して暮らすことのできるよう、微力を注ぎます。

どうぞ、よろしくご指導のほどお願ひ申し上げます。

おかがき病院 看護部長紹介



おかがき病院 看護部長
松坂 まり子

2020年4月1日に看護部長に就任いたしました松坂まり子です。

どうぞよろしくお願い致します。

今までの主な勤務場所は、近畿中央病院、九州中央病院、関東中央病院です。九州中央病院では、杉町統括院長に、新しい病棟を開設するといった機会を頂き大変お世話になりました。そして、今回大好きな福岡で再度仕事ができるチャンスをいただけたことに心から感謝いたします。

私たち看護師は、患者さんが住み慣れた地域で安心して療養生活が送れるよう、個々の患者さんにトータルマネジメントを行っていかねばなりません。その為には、看護師が多職種連携の中心となり色々なニーズに応えられるような質の良い看護を提供することが必要です。

また、医師会の病院として、地域の先生方と十分な連携を取りながら地域住民の方に信頼していただけるような病院作りに取り組んでまいりますので、これからもご指導ご鞭撻の程よろしく申し上げます。

お知らせ

(株)リムファインが開発した簡易型感染汚染ブース「リムファインブース」を水巻町と大勝建設様よりご寄贈いただきました。

今後も新型コロナウイルス対策などに活用させていただきます。



発行日：令和2年6月吉日

発行：遠賀中間医師会おんが病院・おかがき病院

編集：おんが病院・おかがき病院広報委員会